

2022.6.14

東京藝術大学 SDGs 省エネ啓発作品、アイデア募集

東京藝術大学 SDGs 推進室

環境系専門委員会

東京藝術大学では、地球温暖化防止対策の一環として、省エネ・節電対策に取り組んでいます。学内の省エネ啓発のために、学内建物に掲示する「省エネ啓発作品又は省エネのアイデア」を募集いたします。

受賞した作品は、藝大HPへの掲載、学内に掲示等をし省エネ・節電の啓発のために使用させていただきます。また、応募されたアイデアの中から、参考になる省エネ・節電対策がホームページに掲載されます。

【本学のエネルギー・資源の消費と排出の推移】

この4月の大学全体の電力使用量は500,000kWhでした。500,000kWhという使用量は一般家庭(4人世帯マンション)に換算すると約1,500世帯分の数値となります。例年、大学の電力使用量は、夏(7月)、冬(12月)が最も多くなります。ガスも同じ傾向となります。

2020年、2021年はコロナ禍であり低い数値となっておりますが、対面授業が再開したこともあり使用量が増えております。

今夏はロシア・ウクライナ情勢によるエネルギー危機は長期化の様相を呈していること、また、3月の福島県沖地震等の影響により、首都圏など一部地域における電力供給力は減少傾向にあり夏に向けて電力需給がひっ迫する恐れもありますのでより一層の省エネを実施する必要があります。

光熱水(電気・ガス・水道)使用量の実績はこちら

https://www.geidai.ac.jp/information/info_public/energy_usage

本学環境報告書2021はこちら

https://www.geidai.ac.jp/wp-content/uploads/2022/E-Report2022_0228.pdf

【SDGs推進の視点】

『すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する』という目標が掲げられているゴール7、エネルギーに関する目標が、省エネと直接的に関連しています。しかし、省エネが関連するゴールはゴール7だけではなく、ゴール13『気候変動』ゴール3『健康』ゴール8『経済発展』ゴール9『産業インフラ』ゴール11『都市』ゴール15『生物多様性』など、他のゴールとも深く関連しています。まず、エネルギーと気候変動(ゴール13)の関連は容易に想像つくのではないのでしょうか。

実際、再生可能エネルギー比率が18%とまだ低い日本では、石炭や天然ガスを利用した火力発電に依存しており、日本の年間温室効果ガス排出量のうちの85%を占める、10億トンCO₂がエネルギー起源となっています。これらの温室効果ガスが気候変動を引き起こしているのです。

また、火力発電によって排出されるPM_{2.5}などの汚染物質は、ぜんそくや気管支炎、肺炎といった病気の原因となっています(ゴール3:健康)。例えばPM_{2.5}は隣国起因のイメージが強いかもしれませんが、国際環境NGO グリーンピースのシミュレーションによると、日本にある発電所が起源となり首都圏にもPM_{2.5}が広がっています。

(https://act.greenpeace.org/page/21550/petition/1?_)

電力供給が安定しており、日常生活で電気に困るということはない日本では、ゴール7(エネルギー)の達

成度は高いです。しかし、日本では火力発電に使われる化石燃料のほぼ 100%を海外からの輸入に依存しているため、国際情勢の影響によりエネルギー源を安定的に確保していくことが困難になるリスクがあります。

もし電力供給が不安定になると、様々な経済活動を停止させざるを得なくなり(ゴール 8: 経済発展)、日本の製造業を支える工場を停止させざるを得なくなり(ゴール 9: 産業インフラ)、例えば信号機が正常に機能しなければ、安心して道を歩くこともできなくなる(ゴール 11: 都市)など、SDGs のゴールが目指す社会から逆方向に進んでいく可能性があるのです。

更に視点を広げて考えると、そもそも化石燃料の採掘自体が地球環境に及ぼしている影響も大きいです。例えば、山頂石炭採掘の流域から流れる小川では、そうでない綺麗な小川に比べて、40%も生物多様性が失われています。(ゴール 15: 生物多様性)

このように、省エネ一つをとっても、SDGs の視点から考えると貢献できるゴール/リスクとなるゴールが表裏一体となって広がっています。こまめに電気を消す、使わないパソコンは切る、といったたった数秒の、ほんの少しの行動で SDGs に貢献するのか、SDGs に背を向けるのか、考えてみてください。

【参考文献】

経済産業省資源エネルギー庁『日本のエネルギー 2021 年度版「エネルギーの今を知る 10 の質問」』

Green Peace『大気汚染シミュレーション』

経済産業省資源エネルギー庁『省エネって何?』

Duke University『Mountaintop mining causes 40% loss of aquatic biodiversity』(2021/9/2)

応募概要

応募期間 6月30日(木) 17:00 〆切

応募・参加資格 本学に在籍する学生

受賞作品またはアイデア 優秀賞 3点 10万円

テーマ 省エネ (SDGs を考慮すること)

応募規定

1. 作品の場合は、平面作品及び画像・映像作品とする。
平面作品の大きさは A4~A1 程度で任意とする。
大きさはそれぞれのサイズのまま、学内掲示・配布を実施予定。
チラシ、ポスター等の掲示・配布等の活用方法についても応募者の提案とする。
画像作品も同様とする。
映像作品は、最長 60 秒とする。
アイデアは、400 字程度の説明文と補足資料 1 枚までとする。
2. 作品には以下の文言を含めてください。
主催 東京藝術大学 SDGs 推進室環境系専門委員会
3. オリジナルの作品であること。

応募方法

1. 応募用紙または、メール本文に、次の事項（氏名、学籍番号、連絡先メールアドレス、電話番号、アイデア応募の場合は 400 字程度、作品応募の場合はコンセプト 200 字程度の説明）を記載し、作品は PDF 形式または画像・映像形式(jpeg、avi、mp4、mov 等)で提出してください。
2. メール、郵送または窓口にて応募してください。
3. なお、本学ではセキュリティ上、「Giga File 便」「データ便」「firestorage」「Dropbox」等の無料転送サービスのファイルを受け取ることができません。
大容量ファイルを提出する場合は「Google ドライブ」を使用し、事務局 (sisetsu@ml.geidai.ac.jp) が提出物をダウンロードできるよう共有設定等のアクセス権を設定してください。
もし、大容量ファイルを提出する方法がない場合は、事務局から提出用 URL を送信しますので、メール件名を、「省エネ啓発作品提出用 URL 希望（申請代表者名）」とし、提出期限直前にならないよう余裕をもって、(sisetsu@ml.geidai.ac.jp) 宛に電子メールを送信してください。
4. 受賞した作品、アイデアはHPへの掲載、学内掲示・配布等をおこないます。
匿名可。その場合その旨必ず応募時に申請してください。
5. 応募件数は一人 3 点までとする。

審査方法

本学教員による審査 発表は 7 月上旬に行います。

著作権等の取り扱い

- ①受賞作品の著作権（著作権法第 27 条、同 28 条に定める権利を含むがそれらに限られない）、商標権等知的財産権及びその他一切の権利は、本学に帰属するものとします。
- ②応募作品が、既に発表されているものと同様又は類似するものであった場合や、第三者の著作権等知的財産権及びその他の権利を侵害するものであった場合は、受賞後でも賞を取り消す場合があります。
- ③応募者は、応募をもって上記①～②に同意したものとします。